

# 令和2年度ふくしポスター入賞作品の発表

市内の小中学生がおもう「ふだんの 暮らしの しあわせ」がテーマとなっています。  
今年の春から夏にかけて長期の自粛中に描いたポスター750点から選ばれた作品をご覧ください。



最優秀賞

若草中3年 小野 和奏さん

ふくしというと難しく考えてしまうけれど、日々の暮らしの中であったらいいと思いました。



優秀賞

若草小1年 吉澤 美織さん

「いっぱいやさしいところ」なので、ハートをいっぱいにしました。しゃぼん玉、えのぐでハートをそめました。



優秀賞

落合小4年 塩澤 瑠南さん

つえをついたおばあちゃんをささえているところです。



優秀賞

白根御勅使中2年 石川 優衣さん

車いすの方や、高齢者の方、全員がくらしやすい町をつくっていくために、1人1人が手をさしのべていけばいいと思いました。



佳作

若草南小3年 磯野 智貴さん

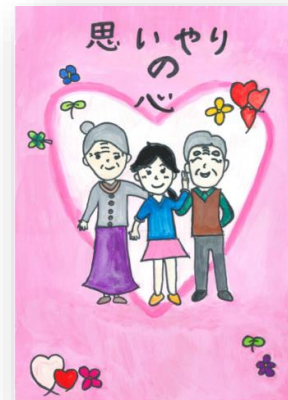
みんなでケーキをたべているところ。



佳作

若草南小3年 深澤 蒼翔さん

ごはんをたべているところ。



佳作

櫛形西小4年 杉山 みまるさん

「お年よりの人を大切にする」ということをイメージしてかきました。



佳作

大明小5年 田中 萌希さん

世界が笑顔になるように



佳作

白根御勅使中2年 三井 万莉奈さん

あたり前にやってくる幸せを大切に暮らして行こうという思い。



佳作

若草中2年 上野 晴さん

あたたかさに染まれば、どんな人でも笑顔になれることを、温かい色をつかって表現しました。

入賞者は、今年度の福祉大会の席上において表彰が行われます。入賞者のみなさまおめでとうございます。

この事業は、赤い羽根共同募金と社協会費の一部が使われております。

